

山口県立総合医療センター

# 形成外科専門医 研修プログラム

つむぐ、  
つながらる、  
つよくなる。

Plastic and  
Reconstructive Surgery

Yamaguchi Prefectural  
Grand Medical Center



# 未来は現在からつくられる、想いを「つむぐ、つながる、つよくなる」



## MISSION プログラムの目的

形成外科は、先天性あるいは後天性に生じた変形や機能障害に対して外科的手技を駆使することにより、形態および機能を回復させ患者のQuality of Lifeの向上に貢献する外科系専門分野です。専門研修プログラムは医師として必要な基本的診断能力と形成外科領域の専門的能力、社会性、倫理性を備えた形成外科専門医を育成することを目的としています。

## FEATURE プログラムの特色

山口、防府、周南地区を中心に県全域から患者さんが受診され、外傷、先天異常、腫瘍、難治性潰瘍等、多岐にわたる症例を経験できます。また当院では耳鼻咽喉科とともに頭頸部腫瘍切除後の再建を多く行っております。(2016年度52症例)救急救命センターと連携しており、一次救急から重症症例まで幅広く経験することができます。

### プログラムについて

(指導医数は平成29年度現在)

#### ■ 基幹施設

### 山口県立総合医療センター 形成外科

#### ■ 統括責任者



宮内 律子

Ritsuko Miyauchi

日本形成外科学会  
日本形成外科学会専門医  
日本乳房オンコプラスティック  
サージャリー学会  
日本熱傷学会 熱傷専門医

#### ■ 指導医



村上 隆一

Ryuichi Murakami

日本形成外科学会  
日本形成外科学会専門医  
日本熱傷学会 熱傷専門医  
日本乳房オンコプラスティック  
サージャリー学会  
日本手外科学会 手外科専門医  
日本創傷外科学会  
日本創傷外科学会専門医  
日本形成外科学会  
皮膚腫瘍外科指導専門医

#### ■ 募集定員 1名

#### ■ 連携施設



愛媛県立中央病院  
形成外科  
(指導医1名)



周南記念病院  
形成外科  
(指導医1名)

#### ■ 地域医療施設

総合病院山口赤十字病院・佐伯医院

## ABOUT 研修内容について

形成外科専門医は、初期臨床研修の2年間と専門研修(後期研修)の4年間の合計6年間の研修で育成されます。

形成外科領域専門医研修カリキュラムでは、到達目標の達成時期や症例数を1年次から4年次まで項目別で設定しています。しかし実際には、各施設の症例数や人事異動などでその時期が前後すると予測されます。そのため、設定した年次はあくまで目安であり、4年次までですべての到達目標を達成することを最終目標とした上で、基幹施設と連携施設とで連携しながら専門研修コースを設定します。

〈ローテーションの一例〉

### 専門研修1年目

#### 山口県立総合医療センター形成外科(1年)

医療面接・記録:病歴聴取を正しく行い、診断名の想定・鑑別診断を述べることができる。

検査:診断を確定させるための検査を行うことができる。

治療:局所麻酔方法、外用療法、病変部の固定法、理学療法の処方を行うことができる。  
基本的な外傷治療、創傷治療を習得する。

偶発症:考えられる偶発症の想定、生じた偶発症に対する緊急的処置を行うことができる。

### 専門研修2年目

#### 周南記念病院形成外科(1年)

専門研修1年目研修事項を確実にこなせることを前提に、形成外科の手術を中心とした基本的技能を身につけていく。研修期間中に①外傷、②先天異常、③腫瘍、④瘢痕・瘢痕拘縮・ケロイド、⑤難治性潰瘍、⑥炎症・変性疾患、⑦その他 について基本的な手術手技を習得する。

### 専門研修3年目

#### 愛媛県立中央病院形成外科(1年)

マイクロサージャリー、クラニオフェイシャルサージャリーなどより高度な技術を要する手術手技を習得する。また、学会発表・論文作成を行うための基本的知識を身につける。

### 専門研修4年目

#### 山口県立総合医療センター形成外科(9か月)、総合病院山口赤十字病院(3か月)

3年目までの研修事項をより深く理解し、自分自身が主体となって治療を進めていけるようにする。さらに、再建外科医として他科医師と協力の上、治療する能力を身につける。また、言語、音声、運動能力などのリハビリテーションを他の医療従事者と協力の上、指示、実施する能力を習得する。

## MESSAGE メッセージ

山口県立総合医療センター形成外科は開設されてから47年と非常に歴史があり、これまで先人の先生方が積み上げられてきた実績と、患者さんの信頼を感じながら、私たちも日々研鑽を積んでいます。病院内では病棟スタッフや他科の先生方から、困った症例やちょっとした相談まで、気軽にお声をかけてもらい、頼って頂ける中で、形成外科としてやりがいを感じ、働くことができていると感じています。山口県内は形成外科医がまだまだ少なく、皆様が活躍できる機会がたくさんあります。また形成外科は分野が多岐にわたりますので、自分の得意分野をみつけて突き詰めるもよし、開業し地域医療に貢献するもよし、自分の生き方にあわせて働き方を選べる科だと思えます。当院プログラムへのご参加を是非お待ちしております。

## 院長ごあいさつ

当院の使命は高度急性期病院としての機能に加え、基幹災害拠点病院、へき地医療拠点病院、地域医療支援病院および地域がん診療拠点病院など、小児から高齢者の幅広い年齢層の患者さんを救命すべく第一級の病院として機能することです。

少子高齢化社会に加え、人生100年の時代に突入してきました。100年の時間をどのようにデザインしていくか、「健康長寿」を目指したその医療提供体制の在り方が問われています。良質な医療を提供するためには、人材育成の観点から医療人がより働きやすい、活力が生まれる職場環境の見直し・整備が今の時代には不可欠です。在宅医療の推進に向けた病病連携や病診連携も積極的に推進していきます。山口県民の皆さまが安心でき

る医療提供体制作りにも多角的視点から取り組んでいきたいと思っています。

今後とも、当院の基本理念である「県民の健康と生命を守るために満足度の高い医療を提供する」ことに向かって、県内の中核医療機関として恥じないよう、職員一同、一致協力して精進していく所存でありますので、県民の皆さまのより一層のご理解とご支援の程、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

地方独立行政法人山口県立病院機構  
山口県立総合医療センター

院長 **武藤 正彦**



## 基本理念

県民の健康と生命を守るために  
満足度の高い医療を提供する。

## 目標

- ◎患者本位の医療
- ◎親切な医療
- ◎良質な医療
- ◎信頼される医療
- ◎地域に開かれた医療を提供し、県民の健康に資する。

## 基本方針

医学・医療の進歩、疾病構造の変化、医療領域の拡大、医療の情報化に対応できる基幹病院として、県内の医療機関との機能分担と連携を図るとともに、県民の健康と生命を守るために良質で満足度の高い医療を効率的に提供し、県民の福祉の増進に寄与する。

- 1 救急・周産期・がん・へき地医療など高度専門・特殊医療等の推進
- 2 災害時医療及び感染症対策への積極的な取組
- 3 本県の医療水準維持・向上のための支援機能の充実
- 4 医療の安全性の確保と患者サービスの充実
- 5 経営健全化のための一層の取組

## 診療科目

- 神経内科
- リハビリテーション科
- 心臓血管外科
- 消化器内科
- 神経科
- 皮膚科
- 内分泌内科
- 救急科
- 産婦人科
- 小児科
- リウマチ科
- 耳鼻咽喉科
- 外科
- 呼吸器内科
- 放射線科
- 整形外科
- 循環器内科
- 麻酔科・ペインクリニック
- 脳神経外科・小児脳神経外科
- 血液内科
- 歯科・歯科口腔外科
- 小児外科
- 新生児科
- 病理診断科
- 泌尿器科
- 乳腺科
- 眼科
- 形成外科

## 病床数

504床

